

事務事業名	身体障害者補装具・更生医療費給付事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	身体障害者福祉法			
政策名	総合計画体系	0:6 誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課	福祉 係(グループ)		
施策名		1:7 障害者の自立と社会参加の促進	課長名	江口 久子	担当者名	剣持 和裕 (内559)		
基本事業名	3:3:4:3 福祉サービスの充実	予算科目	会計	款	項	目	事業	身体障害者保護措置事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 ( 開始年度 不明 年度 ~ ) ( 年度 ~ 年度 )							

<b>事業概要</b> 補装具～身体障害者の障害者を補い、日常生活を容易にするための器具を給付する。 更生医療～北海道医療給付事業(重度心身障害者医療給付事業)の改正に伴い人工透析対象者が増加	全体計画	(単位:千円)
	事業費	特定財源 一般財源 その他 事業費計 (A)
	人件費	正規職員従事人数 人件費計 (B)
	投入量	トータルコスト(A)+(B)

<b>1 現状把握の部 (DO)</b>	
<b>(1) 事務事業の目的と効果</b>	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細) 16年度実績 対象者に概要を説明し、支給申請受付、審査し十勝保健福祉事務所に進達、支給決定を申請者に通知、補装具・医療費の支払い、補助金の交付申請及び実績報告 17年度計画 平成16年度と同様に行う。	<b>活動指標</b> (事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 申請件数 件 イ ウ <b>対象指標</b> (対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 身障手帳所持者 人 イ ウ <b>成果指標</b> (対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 制度を利用使用した人数 人 イ ウ <b>上位成果指標</b> (結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 生活の質が向上したと感じる人/制度利用者 % イ ウ
<b>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</b> 障害を持っている方。18歳未満の児童も対象となる。	
<b>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)</b> 対象者の日常生活や職業生活をしやすいとする。	
<b>結果(どんな結果に結び付けるのか)</b> 対象者の負担の軽減や状態の安定、社会参加を促す。	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>								
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入量	事業費	千円	5,348	5,805	8,172	7,578	7,578	7,578
	一般財源	千円	2,116	2,290	3,468	2,528	2,528	2,528
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	7,464	8,095	11,640	10,106	10,106	10,106
	人件費	人	2	2	2	2		
	人工	年間			0.0328			
	人件費計(B)	千円	0	0	303	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,464	8,095	11,943	10,106	10,106	10,106
活動指標	ア 件	284	301	300	300	300	300	300
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人	733	765	776	802	828	854	854
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人	284	301	300	300	300	300	300
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %							
	イ							
	ウ							

<b>(3) 事務事業の環境変化・町民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 法に規定されているため。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 補装具の進化、医療の進化により両制度の利用者は増加傾向にある。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	本制度を利用することにより、障害のある人が自立して、社会参加できる福祉環境づくりにつながっている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	法に規定されているため。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	対象者やその意図は法により規定されているため、町単独による拡大縮小はない。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	町民に対して制度を知らないということがないように周知徹底する。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	法に抵触する恐れがあるので、現行どおり事業を行う。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	法により規定されているため独立した事務事業のみしかない。
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	法で定められているのにもかかわらず、制度を受けられない住民が出る。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	担当者が制度を熟知し、対応時間のロスを省く。
公平性 評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	所得状況により公平な負担をいただいている。

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																						
法の規定により今後も継続する。ただし、制度を知らないことによる不安定な生活を避けるため制度の周知徹底を図る。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

法による制度ではあるものの、町の負担もあることから、安易な申請は避け状況をよく勘案し、適正な制度活用を促さなければならない。